

## 平成26年7月教育委員会会議の要旨

### 1 日時

平成26年7月28日(月) 14時00分～15時35分

### 2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

### 3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、佐々木委員、竹内委員、岩城委員(教育長)

### 4 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、田中教育施設管理課長、  
江山学校教育課長、上村社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、  
小野教育総務課主幹、中村教育総務課主査

## (議案)

### ○議案第1号「教育財産の所管換えについて」

#### (概要)

教育財産の所管換えについて、承認された。

#### 1. 内容

・防火水槽の設置にあたり、山口市立さくら小学校の敷地の一部を山口市消防本部へ所管換えするもの

#### (主な意見や質疑)

なし

### ○議案第2号「保護者の申立てによる就学学校変更の許可について」

#### (概要)

保護者の申立てによる就学学校変更の許可について、承認された。

#### 1. 内容

個人情報を含む案件であり、非公開とする。

## (協議事項)

### ○協議第1号「山口市教育委員会会議傍聴人規則の見直しについて」

#### (概要)

山口市教育委員会会議傍聴人規則の見直しについて、事務局から提案があり、協議した。

#### 1. 提案理由

県及び県内各市における教育委員会会議の傍聴手続の状況等を踏まえ、山口市教育委員会会議傍聴人規則の見直しについて協議するため。

(主な意見や質疑)

意見	「集団的に傍聴しようとするときは、代表者があらかじめその旨を委員長に申し出なければならない」とあるが、その「あらかじめ」については、1時間以内や数日前など、いつまでに申し出るかをはっきりとさせる必要がある。
意見	「帽子を着用しないこと」については、帽子以外に鉢巻きなどもあるので、山口市議会の傍聴を確認しながら、整合を図っていただきたい。
意見	問い合わせや受付の際にトラブルが起きないように、傍聴については、事前によく知らせておくことが必要である。
意見	細かいことでも、細則等できちんと決めておいて、それをもとに、傍聴人の質問にも対応していくことが大切である。

○協議第2号「社会教育委員会議からの提言を踏まえた対応策について」

(概要)	社会教育委員会議からの提言を踏まえた対応策について、事務局から提案があり、協議した。
1. 提案理由	社会教育委員会議からの提言「『協働のまちづくり』と社会教育の役割」を踏まえた今後の対応策について協議するため。

(主な意見や質疑)

なし

(その他)

○教員の勤務時間について

(概要)	OECD(経済協力開発機構)からの国際教員指導環境調査結果の発表を受けて、教員の勤務時間について、委員から質問があった。
1. 内容	・日本の教員の仕事にかかる時間が長いという結果に関連したもの

(主な意見や質疑)

意見	過労死にならないように、メンタル面での休息など、有効なバリエーションを整えていただきたいと思う。
質問	教員の勤務時間については、どのような方法、頻度で把握されているか。
回答	本人が自分で勤務表に書き込むほか、出勤カードなどをもとに、管理職が教員全員の一覧表を作成し、時間外勤務時間の状況を把握するとともに、教育委員会へ毎月報告してもらっている。

質問 :	山口市の勤務環境については、とりわけ何が問題であると認識されているか。
回答 :	学年や学級に関する業務や部活動による時間外勤務の増加が問題であると認識している。
質問 :	教員の課外活動指導への従事について、特に課題となっていることはあるか。
回答 :	小学校ではブラスバンドや合唱等の指導、中学校では部活動の指導を、平日の放課後だけではなく、休日にも行っていることにより、課外活動の指導にかかる時間が多くなっていることを問題と捉えている。
質問 :	中学校教員の勤務時間について、その最長となる原因は何か。また、中学校では、どのような対応策を講じているか。
回答 :	部活動や下校指導、生徒指導、採点等が原因としてあげられる。各中学校では、時間外勤務を縮減するために、行事や業務の精選や会議の短縮化、管理職の声かけ、ノー残業デーの設定等を行っている。
質問 :	小学校教員の勤務状況の現状はどうなっているか。
回答 :	生徒指導の保護者対応のほか、児童下校後の会議や研修、採点や提出物の点検、授業の準備等がある。これらに加え、ブラスバンドや合唱等の指導も行っている場合には、さらに時間外を含めた勤務時間が長くなっている状況である。
質問 :	教員がいないときによく事故があつたりするが、土日や祝日もすべて活動しているクラブはあるか。
回答 :	土日や祝日もすべて活動しているクラブはあるが、平日のどこかで部活を休みにしている。また、事故が起きたときに困るので、教員がいない部活動はない。

#### ○中学校英語教員の「英語検定準1レベル以上」の取得状況について

##### (概要)

文部科学省からの英語担当教員の「英語検定準1レベル以上」取得状況に関する都道府県別結果の発表を受けて、中学校教員のその状況について、委員から質問があった。

##### 1. 内容

- ・全国平均は27.9%、山口県は32.1%の取得状況という結果に関連したもの

##### (主な意見や質疑)

質問 :	山口市の取得状況はどうなっているか、また、今後、どのような対策を考えているか。
回答 :	中学校の英語教員51名のうち、英検準1級以上を取得している教員の割合は29.4%、15名となっている。今後、教員の意識を高めるために、生徒及び教員に求められている英語力を研修会等で伝えていくとともに、英語教員対象の外部検定試験助成制度を積極的に活用し、英語力の向上を促す予定としている。